

各 位

会 社 名 ラクスル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 松本 恭攝
 (コード：4384、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 CFO 永見 世央
 (TEL：03-6632-9048)

業績予想の上方修正、関係会社株式評価損（特別損失）及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 31 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたします。また、特別損失及び法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 30 年 7 月期通期業績予想数値の修正（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,515	50	9	6	0.31
今回修正予想 (B)	11,100	90	40	14	0.65
増減額 (B-A)	584	39	30	7	-
増減率 (%)	5.6	76.9	325.0	112.5	-
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 7 月期)	7,675	△1,145	△1,163	△1,175	△79.55

(2) 修正の理由

売上高につきましては、計画を上回るペースで新規顧客の獲得が進んだことに加えて、当該新規顧客及び既存顧客のリピート購入も好調に推移したことから、前回予想を上回る見込みであります。利益面につきましては、当社企業価値の源泉である売上総利益が前回予想 2,571 百万円に対して、2,700 百万円となる見込みです。また、営業利益及び経常利益は、増収が販売費及び一般管理費の増加分を吸収することにより、前回予想を上回る見込みです。当期純利益につきましても、減損損失を特別損失として計上するものの繰延税金資産計上による法人税等調整額（益）の計上により前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 30 年 6 月 30 日までの 11 ヶ月累計業績（会計監査人による会計監査前）において、全ての段階利益で黒字化を達成しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

2. 関係会社株式評価損（特別損失）の計上

当社の非連結子会社である RAKSUL INTERNATIONAL PTE. LTD. の財政状態及び業績等を勘案した結果、減損処理による関係会社株式評価損を特別損失として 70 百万円計上することといたしました。

3. 法人税等調整額の計上

当期の業績及び今後の業績の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について平成 30 年 7 月期において繰延税金資産 50 百万円を計上し、法人税等調整額（益）を同額計上することといたしました。

以 上